

環境方針

当社は、安全と誠実をもとに環境経営を追求するため、環境負荷の低減及び環境保全活動を推進することが、企業の社会的責任の一つと認識し、総合的物流サービスの提供という事業活動から生ずる環境負荷を低減させ、地球環境の保全と社会への貢献を目指して活動を行います。

基本方針

法規制を遵守し、環境保全に務めます。

エコドライブなど省エネルギー運動を推進します。

環境保全に関する教育、啓蒙活動を実施します。

廃棄物の適正処理、リサイクルを推進します。

環境目標を定め、定期的に見直すことにより、環境保全活動の継続的な改善に努めます。

平成 22年 8月 5日
浅野運輸倉庫株式会社
環境保全管理統括責任者
代表取締役社長 浅野邦彦

浅野運輸倉庫株式会社

平成22年～平成23年度 環境行動計画

< 環境保全活動への取り組みについて現状把握と課題 >

(グリーン経営推進チェックリストに基づく現状把握と今後の課題)

- < 1 > 環境保全の為の仕組み・体制の整備
これまで環境に関する表面的な取り組みは行ってきたが、環境方針及び推進体制は定めていない。今後、環境方針・推進体制・環境保全に関する積極的な取り組み項目を定め、定期的に行っているミーティングにおいて環境関連法規制等の内容を盛り込み、環境保全意識の向上を図る必要がある。
- < 2 > エコドライブの実施
燃費管理は行っているものの、現在稼動している各車両を各乗務員がローテーションで乗務する為、1ヶ月単位や個人別での燃費把握並びに定量的な目標は定めていない。アイドリングストップについても励行しているが、具体的な実施項目は定めておらず、ドライバー任せの現状であることから計画的な取り組みが必要である。
- < 3 > 低公害車の導入
短期規制以前(平成6年規制以前)の車両を2台保有しているが、現在は予備車両として緊急時以外はほとんど運行を行っていない。
今後、配送物量の増加に伴ってハイブリッド車等の導入も考慮しながら、最新規制適合ディーゼル車への代替を計画的に行っていく必要がある。
- < 4 > 自動車の点検・整備
各項目ともおおそレベル2までを満たしていると思われるが、『環境に対して影響のある現象』に関しての認知度が低い。また、法定点検以外での自社点検基準が定まっていない。
- < 5 > 廃棄物の適正処理及びリサイクルの推進
廃棄物の適正処理及び管理は行っているが、各ドライバーや管理部門従業員への廃棄物に関する教育・指導は行っていない。今後ミーティング等において各種資料を用いて教育を行う必要がある。
- < 6 > 管理部門(事務所)における環境保全の推進
管理部門従業員に対して、環境保全関連の教育は行っていないが、廃棄物分別、照明等の節電は実行している。しかし、使用エネルギーや廃棄物の発生量の把握まではできていない

< 目標 >

- < 1 > 環境教育の推進
- < 2 > エコドライブの実施・・・燃費目標前年比+0.5%燃費向上を目指す
- < 3 > ハイブリッド車導入の検討・最新規制適合車両への代替
- < 4 > 点検実施体制の見直し

< 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 >

- < 1 > 『環境教育の推進』に向けた具体的な取り組み
定期的に行っているミーティングで環境教育項目を盛り込み、環境に関する一般的な情報提供や教育、燃費実績等の開示を行い、環境に優しい運行について意識向上を図っていく。
- < 2 > 「燃費目標前年比+0.5%燃費向上を目指す」に向けた具体的な取り組み
今後、燃費目標を設定し、目標達成に向けた計画的な取り組みを行っていく上で、燃費管理を各車両別から1ヶ月単位でのドライバーが運行を行った車両別での管理へシフトを行う。また、エコドライブ推進責任者を置き、アイドリングストップ実施項目の設定やミーティング等で各種教育資料を用いて燃費向上に向けた教育を行う。その中で進捗状況の確認及び月次実績の公表を行い、各ドライバーの意識向上を目指して取り組んでいく。
- < 3 > 「ハイブリッド車両・最新規制適合車両への代替」
今後、代替を行うにあたりハイブリッド車両の導入を検討しながら、最新規制適合車への代替を計画していく。
- < 4 > 「点検実施体制の見直し」
自社点検基準の見直しを行い『環境に対して影響のある現象』について盛り込んだ点検基準を定め取り組んでいく。
- < 5 > 「環境保全の推進」に向けた具体的な取り組み
環境保全への取り組みの周知・教育・指導の実施。エネルギー使用量・廃棄物排出量について具体的な数字の把握、及び削減目標を設定し取り組んでいく。

平成22年8月5日
浅野運輸倉庫株式会社
環境保全管理統括責任者
代表取締役 浅野 邦彦